

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	33	学校名	武義高等学校
------	----	-----	--------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	生徒の個性や能力の伸長、知識や技能の定着に取り組む高校として 校訓「うまず・おくせず・たくましく」のもと、自走力を高める教育活動を通して 調和のとれた人格の形成と、地域社会の発展に寄与できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	教科の学習や特別教育活動を通して、調和のとれた人格を形成することにより、高い志をもち将来社会の発展に寄与できるリーダーの育成を目指す。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・ 夢や希望に向けて自ら学習や部活動に励む生徒 ・ 自分で正しい判断や行動ができる生徒 ・ 地域に愛着を持ち地域の発展に貢献できる生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・ 知識や技能の定着と、学ぶ意欲、学ぶ習慣の育成 ・ 一人一人の個性や能力の伸長と自走性の育成 ・ ふるさと教育やSDGs教育の実践を通し、課題を解決する力の育成	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・ 自分で目標を定め、自走性を発揮し、勉強や部活動に意欲的に取り組む生徒 ・ 自他の違いを認め合い、心の優しさと強さを持った生徒 ・ ふるさとを愛し、地域の様々な課題解決に積極的に参画する生徒	
学校の抱える課題	自ら考え行動できる自信と勇気を持つ自走性に富んだ生徒たちを育てていくための、体制と具体的な活動の構築と実践。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	地域教育力で育つ生徒の自走性養成をスローガンに、多様な進学方法と進路選択ができる学校をつくる。	
	学習指導	主体的な学習態度を育成する、質の高い授業、頑張れる授業、わかる授業を提供する。	
	進路指導	生徒理解に努め、生徒の健全な発達を図るとともに、高い志を併せ持つ進路希望の実現を達成する。	
	特別活動	生徒の活力を引き出し発揮できる場面を大切にする。地域社会に貢献する教育を推進し、地域教育力を生かした活動の充実を図る。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域 分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	生徒一人一人が活躍する場面を創出し、お互いの良さを認め合う機会を多く持つ。	施策Ⅰ-1	・学校関係者評価				
	地域、保護者、学校が連携・協働し、地域の教育力を取り入れる。	施策Ⅰ-3	・アンケート、学校運営協議会等での評価 ・すぐる発信数やホームページ等の更新回数、アクセス回数				
	情報発信を通して、地域と保護者の理解を求めると共に、武義高に対する要望に応える。	施策Ⅰ-4					
	普通科とビジネス情報科の探究的な活動を連携させる組織を構築し、互いに高め合える機会を創出する。	施策Ⅱ-13					
学習指導	高校生のための学びの基礎診断等から学習効果・課題を定期的に分析し、指導方法や評価方法の改善をする。	施策Ⅱ-8	・授業アンケート結果				
	年次や科ごとに学習課題を明確に持たせる指導、目標を達成するまで反復する学習を徹底する。	施策Ⅱ-8	・外部模擬試験等の成績結果と経年比較				
	ICT教育を取り入れた授業改善を推進し、主体的・対話的な学習態度を育成する。	施策Ⅱ-9					
	地域の産業界や関係機関と連携したキャリア教育を促進する。	施策Ⅱ-13					
進路指導	週1回の定期的な生徒情報交換会を開催し、常に生徒の状況を迅速に把握し個別最適な対応を取る。	施策Ⅲ-19	・不登校や問題を抱えた生徒の状況把握と対応、心のアンケート等				
	国際社会やグローバル社会で活躍する意識を持たせ、努力を継続させる。	施策Ⅱ-11	・行事実施後の生徒アンケート、外部評価				
	進路選択の多様化に対応した進路指導を通して、学習指導、補習指導等の充実を図る。	施策Ⅳ-23	・アンケート、学校運営協議会等での評価				
	外部講師やサテライン、生成AIによる添削指導も取り入れながら、職員が研修を深め、より効果的な進路指導を実践する。	施策Ⅳ-26					
特別活動	「地域課題の探究」を通して、地域の魅力を知り、地域課題を発見し、生徒たちが主体的に解決策を模索できるように支援する。	施策Ⅱ-8	・実施後の生徒アンケート、外部の方対象アンケート、学校運営協議会等での評価				
	生徒を地域の各種行事へ積極的に参加させ、地域活性化に貢献するとともに、地域教育力を取り入れ生徒の自走性を高める。	施策Ⅰ-4	・生徒の卒業時アンケート				
	「一人ひとりの文武両道」が達成できるよう、より高い目標を持った部活動や生徒会活動を推進する。	施策Ⅳ-24					
	健康で安全な生活について意識し、美化活動やリサイクル活動、防災活動を積極的に行う。	施策Ⅲ-17					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日

--	--